

学生のみなさん やっとお会いすることができましたね。うれしいです。私は学長の飛田です。「元氣なみんなに会いたい だから 今は会わない」として、4月からこれまでステイホーム、そして「新たな日常」を実践してきました。皆さんは、頑張ってきたから、これまで元氣に過ごすことができたと思います。

我が国においては、「新しい生活様式」を踏まえる中での社会経済活動が始まっています。このことは、ご承知のように、新型コロナウイルス感染症が終息したのではなく、依然として厳しい状況の中にあるということです。とりわけ私達高齢者は気を付けなければなりません。

老大では、withコロナの中、どのような体制を整えたら講座を開くことができるのかを考え、感染予防対策として出来ることはすべてやろうと準備してきました。例えば、三密を防ぐために、1日に来る学生数を少なくし、より広い教室に変更して座席の間隔をあけて座るようにしました。授業中も窓を開けて換気します。トイレも密を防ぐために、休憩中だけでなく授業中でも使用してください。

飛沫感染を防ぐために、教室の教卓前には、シールドを設置しました。他にも、しっかり手洗いができるように洗剤を準備し、消毒するための消毒液やペーパータオルも用意しています。ソーシャルディスタンス（人と人の距離）を取るために、事務室前やエレベータには足形をつけています。

他にも、学生や講師、職員が出来るだけ安心して学び、過ごすことができるよう、高齢者支援課にも援助していただき、一生懸命考えて準備をしてきました。こうした状況を踏まえ、臨時講座ではありますが、学生の皆さんが集い学習する場を持つことができました。

学生の皆さんは、「自分が感染しない。友達にうつさない」ために、事前にお配りした「登校時の徹底事項」登校前の検温に始まり、登校時、授業・休憩中、下校時の内容について、熟読をしていただき、とりわけ「5つの約束」は絶対に実践して欲しいと思います。よろしくお願いします。

次年度の老大も、「新しい生活様式」を踏まえる中での開講になると思います。コロナウイルス感染症の終息宣言が出されるまで、1人1人が頑張って楽しい老大生活にしましょう

最後になりますが、私は、「老大からは一人の感染者も出さない」と思っています。しかし、出来る限りの感染防止対策を行ない、1人1人がどんなに気を付けていたとしても、誰しも感染のリスクはゼロではありません。そのことは、もし、感染者が出たとしても誰もその人を責めることは出来ません。誹謗、中傷、偏見は厳に慎まなければならないと思います。どうぞ、よろしくお願いします。